

微分積分学・同演習 A

演習問題 1

- (1) $X_1 = \{-4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4\}$
(2) $X_2 = \{2, 3, 5, 7, 11, 13, 17, 19, 23, 29, 31, 37, 41, 43, 47\}$
(3) $X_3 = \{\frac{1}{2}, \frac{1}{3}, \frac{1}{4}, \frac{1}{5}, \frac{2}{3}, \frac{2}{5}, \frac{3}{4}, \frac{3}{5}, \frac{4}{5}\}$
- (1) $ax^2 + bx + c$ ($a, b, c \in \mathbb{R}$)
(2) $ax^2 + bx - a - b$ ($a, b \in \mathbb{R}$)
(3) $x^3/3 + x^2/2 + c$ ($c \in \mathbb{R}$)
- (右辺)² - (左辺)² ≥ 0 を確認すればよい. (1) (右辺)² - (左辺)² = $2(|ab| - ab)$ であるが, 絶対値の定義より $|ab| \geq ab$ が成り立つ. (2) (右辺)² - (左辺)² = $2(|ab| - ab)$ なので, (1) と同じ.
- 左辺から式変形する.

$$(\text{右辺}) = \frac{n!}{(j-1)!(n-j+1)!} + \frac{n!}{j!(n-j)!} = \frac{n!}{(j-1)!(n-j)!} \left(\frac{1}{n-j+1} + \frac{1}{j} \right).$$

ここで $\frac{1}{n-j+1} + \frac{1}{j} = \frac{n+1}{j(n+1-j)}$ なので,

$$(\text{右辺}) = \frac{n!}{(j-1)!(n-j)!} \cdot \frac{n+1}{j(n+1-j)} = \frac{(n+1)!}{j!(n+1-j)!} = \binom{n+1}{j} = (\text{左辺}).$$

- $(x+1)^n = \sum_{i=1}^n \binom{n}{i} x^i$ を利用する.
(1) 上式において $x = 1$ を代入する. (2) 上式において $x = -1$ を代入する.
- [†] (1) 任意の正の数 $\varepsilon > 0$ に対してある自然数 N が存在して, $n \geq N$ を満たす任意の自然数 n に対して $|a_n - \alpha| < \varepsilon$ が成立する.
(2) ある正の数 $\varepsilon > 0$ が存在して, どんな自然数 N に対しても $n \geq N$ かつ $|a_n - \alpha| \geq \varepsilon$ となる自然数 n が存在する.
- [†] 実数 a に対して $[a]$ を, a を超えない最大の整数とする. 任意の正数 ε が与えられたとする.
(1) $N = [\sqrt[3]{3/\varepsilon}] + 1$ とすれば, $n \geq N$ のとき, $n^3 \geq N^3 \geq 3/\varepsilon$ であるので, $3/n^3 < \varepsilon$ となる.
(2) $N = [-\log \varepsilon] + 1$ とすれば, $n \geq N$ のとき $e^{-n} \leq e^{-N} < \varepsilon$.

(3) $N = \lceil -\log \varepsilon / \log 2 \rceil + 1$ とすれば, $n \geq N$ のとき $1/2^n < 1/2^N < \varepsilon$ である. よって, $|1 - (1 - 1/2^n)| = 1/2^n < \varepsilon$.

8. 背理法を用いる: もし $\alpha \neq 0$ とすれば α は非負の数であることより $\alpha > 0$ であるが, このとき $\varepsilon = \alpha/2$ に対しては $\alpha < \varepsilon$ が成立していない. これは任意の正の数 ε に対して $\alpha < \varepsilon$ を満たすことに矛盾する. よって $\alpha = 0$ でなければならない.